

-MCAP-CR とフォスター電機(株)名古屋式 DB を複合したマルチバスレフ-

2013.10.13 高橋

-目標-

- ・小型ユニットを使用した SP の低域再生範囲を伸ばす。
- ・クセが少ない(ダクト臭が少ない)、低音を再生する。

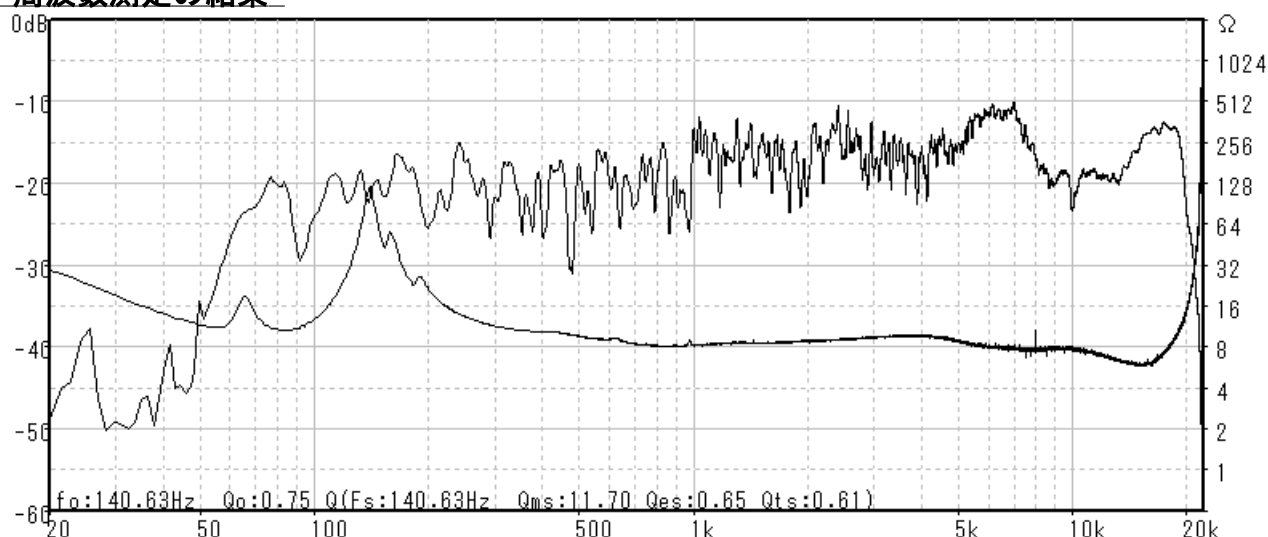
-目標の達成方法-

- ・MCAP-CR 形式(※1)とフォスター電機(株)名古屋式 DB 形式(※2)の複合化を検討した。
- ・吸音材を使わずに済むよう、平行面をほぼ完全に無くした。

-詳細-

- ・ユニット: ScanSpeak 5F/8422T03 (ステレオ誌 2013 年 8 月号付録)
- ・主空気室: 1.75L、第 1 空気室: 0.95L、第 2 空気室: 0.8L
(主空気室 \div 第 1 空気室+第 2 空気室)
主空気室と第 1 空気室をつなぐダクト: Φ 18mm、長さ 74mm
(※2 計算における共振周波数: 68Hz)
主空気室と第 2 空気室をつなぐダクト: Φ 18mm、長さ 67mm
(※2 計算における共振周波数: 77Hz)
第 1 空気室と外気をつなぐダクト: Φ 20mm、長さ 60mm
(共振周波数: 115Hz)
第 2 空気室と外気をつなぐダクト: Φ 20mm、長さ 48mm
(共振周波数: 137Hz)
- ・塗装: 箱の内部および外部(カシュー塗装)、ユニットコーン紙(1cut のシュラック塗装)

-周波数測定の結果-



使用機材: 第 2 回公開オフ会詳細資料に記載の条件と同一(ユニット軸上 50cm、高さ 85cm)
インピーダンス測定時のみ、秋月電子電商TA7368使用小型アンプキット使用。

-参考資料-

- ※1: 特許第 5083703 号 特許公報
- ※2: ステレオ誌 2005 年 7 月号、ステレオ誌 2010 年 11 月号

板厚：6mm

